



2026年 9 月 8 日
九州電力送配電株式会社

アストラゼネカ株式会社と連携し、EV 充電サービスの実証を開始しました — 賃貸駐車場等への充電環境整備を通じ、社会の EV 導入を後押し —

当社は、アストラゼネカ株式会社（以下、アストラゼネカ）と連携し、月極駐車場や賃貸住宅付随の駐車場（以下、賃貸駐車場等）を対象とした EV 充電サービスの実証を九州エリアで開始しました。

■背景と目的

EV の普及拡大に向けては、経路充電の活用に加え、自宅や勤務先など、日常的に駐車する場所での基礎充電の環境整備が重要です。一方で、賃貸駐車場等においては、複数の関係者との調整や電源確保などの課題により、EV 充電環境の整備が進みにくい状況にあります。

このような状況を踏まえ、当社は、電力インフラの維持・運用を通じて培った知見と技術力を活かし、賃貸駐車場等において、利用者からの申込みに基づき、利用者専用の EV 充電環境をワンストップで提供するサービスの開発に取り組んでいます。

アストラゼネカは、バリューチェーン全体での CO₂排出削減の取組みの一環として、病院・診療所・薬局などを訪問する医療情報担当者（以下、MR）が利用する社有車の全台 EV 化を進めています。MR は直行直帰型の働き方が中心であり、かつ賃貸住宅の利用も一定数いることから、契約駐車区画での充電環境確保のニーズが高まっています。

そこで両社は、賃貸駐車場等における EV 充電設備の導入・運用に関する実証を行い、EV 導入拡大に向けた充電環境整備モデルの有効性を検証します。

■各社の役割

当社は、アストラゼネカの MR が利用する契約駐車区画を対象に、現地調査、管理会社・地権者との調整、充電設備の設置、導入後の運用までをワンストップで提供し、サービスの実現可能性や導入・運用面における課題を検証します。

アストラゼネカには、九州エリアにおいて賃貸駐車場等を利用する MR の本実証への参画を通じ、MR の働きやすさと生産性の向上を目指すとともに、サービスの利便性向上に協力いただきます。

■今後の展望

本実証で得られた知見を活かし、一般の自動車利用者が、現在の契約駐車区画をそのまま活用しながら、気軽に EV への乗り換えができるサービスの実現を目指すことで、カーボンニュートラルと持続可能なモビリティ社会の実現に貢献してまいります。

以 上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。